

みずほCustomer Desk Report 2016/05/18 号(As of 2016/05/17)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	108.94 AUD/USD
TKY 9:00AM	109.08	1.1315	123.44	0.9782	1.4448	0.7287
SYD-NY High	109.65	1.1349	124.16	0.9809	1.4524	0.7368
SYD-NY Low	108.84	1.1302	123.27	0.9753	1.4399	0.7282
NY 5:00 PM	109.16	1.1315	123.48	0.9805	1.4466	0.7326
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	11.56/12.045		△25RR	0.520	Yen Call Over	

NY DOW	17,529.98	▲180.73	債券市場	日本2年債	-0.2400	0.5bp
NASDAQ	4,715.73	▲59.73		日本10年債	-0.1020	0.2bp
S&P	2,047.21	▲19.45		米国2年債	0.8309	4.5bp
日経平均	16,652.80	186.40		米国5年債	1.2998	3.9bp
TOPIX	1,335.85	14.20		米国10年債	1.7723	1.9bp
シカゴ日経先物	16,575	▲60.00	為替市況	独10年債	0.1320	▲1.1bp
ロンドンFT	6,167.77	16.37		英10年債	1.3700	▲2.5bp
DAX	9,890.19	▲62.71		豪10年債	2.2990	7.0bp
ハンセン指数	20,118.80	234.85		USD/CNH	6.5475	▲0.0015
上海総合	2,843.68	▲7.18		ドルインデックス	94.55	▲0.02
USDJPY 3M Vol	11.40	▲0.16%	商品市況	CRB指数	185.856	1.27
USDJPY 6M Vol	11.18	▲0.10%		NY金	1,276.900	2.70
EURJPY 3M Vol	12.27	▲0.19%		WTI	48.310	0.59
EURJPY 6M Vol	11.68	▲0.12%		Dubai Spot	45.43	0.12

東京	東京時間のドル円は109.08レベルでオープン。日経平均株価が前日比150円超高で寄り付くもすぐに上昇幅を縮小する動きとなるとドル円も連れ安となり一時108.88まで下落。その後は日経平均株価が持ち直すとドル円も下げ止まり108円台後半から109円台前半での動きに乏しい推移が続いた。しかし、特段の材料が見当たらない中、東京時間15時を挟んで109円ちょうど近辺から一時109.34まで急上昇し、109.32レベルで海外へ渡った。また、この日公表された豪準備銀行理事会の議事要旨において利下げが決定された5月会合時に金利据え置きも検討されたことが示され、豪ドルは急騰する展開となった。0.72台後半から0.73台半ばまで急騰するとその後も底堅い推移が続き0.7357レベルで海外時間へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は109.32でオープン。欧州株が前日比プラス圏でオープンし原油も堅調に推移する中、クロス円が続伸する展開となると、ドル円は月初来高値を更新し一時109.65まで上昇。独、英金利が低下し始め、欧州株が下落するとクロス円は軟調地合いとなったものの、ドル円は109円半ばで底堅い推移となり、109.45レベルでNYへ渡った。ユーロドルは1.1323レベルでオープン。目立った材料のない中、1.13台前半での動きに乏しい推移が続き1.1321レベルでNYへ渡った。ポンドドルは1.4489レベルでオープンし、最新のORB/Telegraph調査がEU残留派の意見が小幅増加した事が好感された事もあり一時1.45台前半まで上昇したが、コア英国金利が低下すると1.44台に下落。英4月CPIが前年比+0.3%と市場予想(同+0.5%)より弱い結果となり、その後欧州株が軟調に推移し、ドルが全体的に強含む中、ポンドドルは続落し、1.4478レベルでNYへ渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	ドル円は109.45レベルでNYオープン。朝方は米4月CPI(前月比)が予想を上回り、同時に発表された米4月住宅着工件数も予想を上回り、ドル買いに109.65まで上昇するが、このレベルでは利益確定の売り意欲が強く、ドル売りが持ち込まれたことから109.17まで反落する。続いて発表の米4月鉱工業生産は0.7%増と、2014年11月以来の伸びとなるが、前回分が下方修正されたことからドル円の反応は限定的となった。その後も株式市場が軟調に推移し、債券買いが強まり、米金利が低下する展開に、ドル円は上値を切り下げ、108.84まで下落する。その後は翌日に本邦第1Q-GDPやFOMC議事録の公表を控える中、様子見から狭いレンジでの推移が続き、109.16レベルでクロスした。一方、狭いレンジでの推移が続いたユーロドルは、欧州株が堅調に推移する動きを受けたユーロ円の買いに下値をサポートされ、1.1321レベルでNYオープン。朝方は米4月CPI結果を受けたドル買いに1.1302まで下落するが、その後はドル売りが優勢となったことから1.1349まで戻す。その後は株式市場が軟調に推移する動きを受けたユーロ円の売りや、ドルが買い戻される動きに1.1312まで下落し、1.1315レベルでクロスした。(NY 00531 113 682井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:尾身・森谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月17日	8:00	米 カシカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	-	-
	13:30	日 鉱工業生産(確報、前月比/前年比)	3月 3.8%/0.2%	-/-
	17:30	英 CPI(前月比/前年比)	4月 0.1%/0.3%	0.3%/0.5%
	21:30	米 住宅着工件数/建設許可件数	4月 1172K/1116K	1125K/1135K
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	4月 0.4%/1.1%	0.3%/1.1%
	21:30	米 コアCPI(前月比/前年比)	4月 0.2%/2.1%	0.2%/2.1%
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	4月 0.7%	0.3%
	22:15	米 設備稼働率	4月 75.4%	75.0%

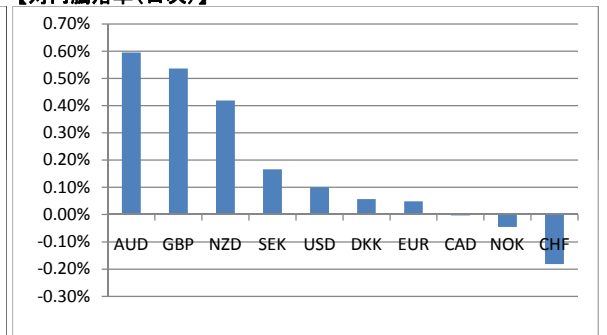
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月18日	8:50	日 GDP(季調済/前期比)/名目GDP(季調済/前期比)	第1Q 0.1%/0.5%	-0.3%/-0.2%
	8:50	日 GDPデフレーター(前年比)	第1Q 1.0%	1.5%
	8:50	日 GDP民間消費支出/民間企業設備(前期比)	第1Q 0.2%/-0.8%	-0.9%/1.5%
	17:30	英 ILO失業率	4月 5.1%	5.1%
	18:00	欧 CPI(前月比/前年比)	4月 0.0%/-0.2%	1.2%/-0.2%
	18:00	欧 コアCPI(前年比)	4月 0.7%	0.7%
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	0.4%
5月19日	3:00	米 FOMC議事要旨公表	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.70-109.70	1.1270-1.1370	122.75-124.25

【マーケットインプレッション】

昨晚のドル円相場は一時109.65円まで上昇する場面も見られたが、結局は109円付近まで反落した。LDN時間入り近辺よりドル円の上昇が目立ち、原油相場の反発が継続したことやクロス円の上昇と相俟って109円付近から109円台後半まで上昇した。NY時間に発表された米4月CPI(前月比)が予想を上回ったことで再びドル買いが強まる場面が見られたが109.65円付近では売り意欲も強く上値の重さを確認することとなった。その後ドル円は109円付近まで反落してクロス。本日のドル円も109円付近でのみ合いを予想。109円台後半にて上値の重さを確認したものの、堅調な株式市場と原油相場の反発を横目にドル円は高値圏での推移を維持するだろう。